

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



自治体の概要

九州南西部、熊本県の南端に位置

1つの自治体の中で、海・山・川の生態系がコンパクトに完結し、人々の暮らしと生業が営まれている。



地域の資源の一例



撮影: 霧下 誠氏

今後のビジョン・計画

2030年のあるべき姿

みんなが幸せを感じ
笑顔あふれる元気なまち 水俣

経済

地域資源を有機的に結び付けた産業活動を展開し、地域の持続に必要な所得獲得を目指す。

社会

活動人口の増加を目指し、多様な「人づくり」を推進し、人材を循環させる。

環境

経験と教訓の発信、市民協働による「環境まちづくり」活動を継続し、環境共生社会を構築する。

SDGsに関する特徴的な取組

第6次水俣市総合計画における「目指す将来像」

「みんなが幸せを感じ」
「笑顔あふれる元気なまち」

反映

SDGsの理念

誰一人取り残さない
経済・社会・環境が元気で、そこに住む人たちは笑顔である。



- ① 活力ある地場企業づくり
- ② 地域資源を活かした観光の振興
- ③ 地産地消と“みなまたブランド”づくり



- ⑦ 地域における温室効果ガス排出量の削減
- ⑧ ごみの分別適正化と減量
- ⑨ 協働による環境保全活動の推進



- ④ 豊かな心で未来に挑戦する人づくり
- ⑤ 次世代を担う人材の育成
- ⑥ 元気に老い、いきいきと生きがいのあるまちづくり

